

創立147周年

学校便り

令和5年度 No.11



進取

令和6年3月19日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数439人

「阿久根小のよき伝統」をバトンパス

校長 中村 一成

先日、なかよし学級・のびのび学級の閉級式がありました。5月の開級式では、人前で緊張してなかなか声が出ず発表ができなかった子も、閉級式では大きな声で堂々と発表していました。この1年間の積み上げてきた成果が発揮され、うれしい気持ちでいっぱいになりました。特に6年生は、自分で選んだ「座右の銘」を、今までの自分の生活を振り返りながら、さらに中学校やこれからの人生の目標と絡めて発表していました。中学校でのより一層の成長が期待でき楽しみです。

さて、3月は、一人一人が一学年上の自分にバトンを渡す月です。また、学校全体の役割でいえば、6年生が5年生に、5年生が4年生に…2年生が1年生に、バトンを渡す月でもあります。特に小学校では6年生が要となります。行事のたびに先頭を走り続けた6年生、そのバトンを5年生が引き継ぎます。22日に実施される卒業式に向けての予行練習では、6年生が、緊張感をもって真剣に取り組む姿を5年生に見せることで、言葉ではなく背中で思いを伝えてくれました。おかげで、スムーズなバトンパスができそうです。同じような走りになるか分かりませんが、今の5年生のカラーを出して、さらにすばらしい走りをしてくれるのではないかと期待しています。

令和5年度も締めくくりの時期になりました。4月に入学した頃は、まだ幼さが残っていた1年生の顔つきもすっかり小学生らしくなってきました。また、身長がぐんと伸びた子、自分の思いを伝えられるようになった子、自分のからを破れた子、一人一人の成長を実感できた一年でした。通知表「のびゆくすがた」に3学期の、そしてこの一年間の子供たちのがんばった姿が記載されていますので、ぜひ親子でいっしょに見ながら、成長を具体的に褒めてあげてください。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度の教育活動に対し、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。来年度も教職員一丸となった取り組みを展開し、子供たちの健全な成長を推進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

春休みは 自学自習を！

春休みは、学年も上がり担任も変わることから、夏休みや冬休みのように提出を求められるような課題はありません。それだけに自分で計画を立てて学習する良い機会です。その学年で習った漢字を確認したり、算数の教科書の問題をもう一度解いてみたり、苦手な学習に集中して取り組むのもいいかもしれません。やらされるのではなく、自分から取り組む。この姿勢が身に付くと、新学年でもスタートダッシュがきれいと思います。また、春休み中に新年度の目標もしっかりと立て、意欲をもって新学期に臨みたいものです。ぜひ、子供の背中を押していただき、充実した春休みを過ごして欲しいと思います。